

市の交通対策について！



尾方 洋直 議員

市の総合計画について！

尾方 電鉄のLRT化計画への支援検討に取り組み始めてきているが、現在までの経過と都心結節計画が3月28日に設置されたが、事業化するための具体的検討に入られると思います。今後の、スケジュールを伺う？

総務企画部長 第一回目の都心結節計画検討委員会が6月5日に開かれたが、今後は国や県警など道路管理者や交通管理者を交え検討するが、スケジュールは現時点では未定となっている。

尾方 テクノパーク計画について、規模および完成は何年頃の予定か、また、バイオフィレストについての予定は？

尾方 市と市民の協働による計画づくりについて第3回の市民ワークショップにて参加者から市の発展には道路整備が重要であるとの意見が多く、また、市の中心の御代志駅の渋滞には将来を考慮して立体交差が望ましいと思うが市の考えを伺う？

総務企画部長 御代志駅の交差点の計画は、県道大津西合志線は恵楓園側は郵便局側に振って、平面での十字交差で計画されている。

尾方 市と市民の協働による計画づくりについて第3回の市民ワークショップにて参加者から市の発展には道路整備が重要であるとの意見が多く、また、市の中心の御代志駅の渋滞には将来を考慮して立体交差が望ましいと思うが市の考えを伺う？

交通危険箇所の対応について！

尾方 みずき台と豊岡の交差点の改良を要望します！

総務企画部長 信号機設置は、変則交差点のため難しい。今後、交差点改良も視野に入れ検討する。

合志市議選に

いくらかかかったか？



青木 照美 議員

青木 四月に執行された合志市議選について伺う。特に、迅速性、効率性、費用面について質問する。

投票率の向上にむけ、ごう広報活動をされたか？

選挙管理委員会委員長 防災無線放送、広報車での広報活動は行ったが、明るい選挙推進協議会については、設立に向けて準備中です。

青木 投票所の雰囲気、余りにも固苦しく、監視されているが、改善できないものか？

選挙管理委員会委員長 選挙は厳格なものであり、職員もそつじつ意識で

行っている。投票立会人も公正な投票の監視的な役割もあり、厳粛な雰囲気になってしまふ。今後、改善策を検討していく。

青木 費用はいくらかかっていたか？

また、その内訳は？

総経費？

投票、開票の経費？

市職員一人当たり投票および開票に關した人件費？

その内、最高に支払った人件費は？

選挙管理委員会事務局長 費用の総額は、約3千220万円。

投票票経費は、1千710万6千円で、職員の人件費が投票に450万7千円、開票に110万9千円で、最高額は5万6千792円です。



行財政改革を 市民と協働で進めよう！



濱口 正暁 議員

濱口 2007年問題、団塊世代の有能な知識・技量を有償ボランティアとして活用する場を設けたらどうか？

総務企画部長 今のシルバー人材センターは作業が主なので、パソコンやダンスの指導などに広げられるか相談したい。

濱口 行政対応のスピードアップのために、「今すぐやるための対策・検討班」をNPO法人として設置したらどうか？

総務企画部長 庁舎内にそのような組織が組み入れられるか検討したい。

財政改革について！

濱口 徹底的なムダ排除の方法として、市民の意見を取り入れるシステムを作ったらどうか？

総務企画部長 これまでもパブリックコメントを募集するなど市民の意見を取り入れているが、更に検討したい。

濱口 自主財源確保のための取り組み状況を伺う？

総務企画部長 財源確保の取り組みとして、適正な課税と徴収対策、使用料などの見直し、企業誘致などがある。

濱口 農業・酪農の衰退防止および環境保全のため、「産・学・官」で、二次加工化並びに高付加価値化を狙った中長期的な取り組み体制をはかったらどうか？

産業振興部長 市にバイオフィレスト構想の実践拠点であるサポートセンターが開所され、高付加価値化に向けた取り組みが期待される。また、合志市に立地する農業関係機関と連携し、加工など高付加価値化を図る。



神田 公司 議員

神田 学校給食のシステムは、給食調理員の顔が見え、温かい食事が提供できる自校方式に統一されるべきだ。現状はどちらの方式にするのか検討中というが、検討の進捗状況は？

教育委員会事務局長 センター方式と自校方式の経費の比較、施設の整備状況、他市の施設の視察等を行いました。今後は現場で働く調理師等の意見や、PTA(代表との懇談を行い検証し、方向性を決定いたします。

ごみ行政について！

神田 合志市では燃やすごみの20%削減に向けた3年計画が進んでいる。現状で、この計画は実現できるのか？「プラごみ」や「その他の紙」の分別を徹底させるためには、まず市職員が地域で率先して実行すべきで、全職員を対象とした研修会を開くべきだ。

市民部長 既に、減量化

に向けての取り組みを実施、今後20%減量化に向けて更に努力したい。職員が減量化に務めるのは当然のことと思いますが、機会を見て研修を実施したい。

放課後子ども対策について！

神田 厚生労働省は「71人以上の大規模クラブについては、3年間の経過措置後、補助を廃止し、規模の適正化(分割など)の促進を図る」としている。現在、大規模化の西合志南小学校、西合志東小学校の児童保育所を分離する場合、本年度からの作業が必要になるが、どのような検討をしているのか？

健康福祉部長 現在71人以上のクラブは西合志南小の96人、西合志東小の94人で、この児童保育所の大規模化の分離問題につきましても、今後、早急に関係者と協議してまいります。